

渋川市小中学校PTA連絡協議会広報



「かけはし」命名の由来

新生市P連～親・子・先生、一つになって各地区に「心の橋」をかけよう。

かけはし

第7号

平成26年3月発行

発行

渋川市小中学校PTA連絡協議会 ホームページアドレス

http://shibukawa-pta.jimdo.com/



笑顔のためにできること

渋川市小中学校PTA連絡協議会 会長 松村 浩

PTAと聞いて、皆さんはどのような印象をお持ちでしょうか。「大変そうだ」とか「面倒くさい」といった印象をお持ちの方が多く、「役員を引き受けるなんてとんでもない」といった意見の方も多いのではないのでしょうか。確かに、PTAの役割や活動は多岐にわたったり、困難なものも多く、労苦や時間を費やさなければならぬこともあります。ですが、PTA活動を「やらされる」とか「義務だから仕方なく」といった気持ちで取り組んでしまうのは、とても残念なことだと思います。日々の仕事や家事は、大変なことですが、やらなければならぬといった義務感が少なからず伴います。しかし、その根底には、子どもたちの笑顔が見たいといった親としての強い思いがあるのではないのでしょうか。PTAは、子どもたちの笑顔が見たいという同じ思いを土台として、そのためには何が出来るだろうか、どうしたらいいだろうか、みんなで考えてみようという実践の場として存在しています。その中で中心的な役割を担うのが役員の方々です。役員を引き受けてくださった方へ、1年間本当にお疲れ様でした。最初は、不安や緊張感を覚えたのではないのでしょうか。振り返ってみて、どのような感想をお持ちですか。きっと新たな発見や達成感、それまでの印象とは明らかに違う気持ちの変化があったものと思います。大人が変われば、子どもたちも変わります。そうした発見や思いを、是非伝えていただきたいと思います。

さて、来年度は第60回群馬県PTA大会が11月29日(土)に渋川市で開催されます。群馬県内のPTA会員が一同に会する貴重な機会です。現在、準備委員会を立ち上げて検討を重ねていますが、参加して良かったと言ってもらえるような大会にしたいと考えていますので、是非とも皆さんのお力添えをいただきたいと思っております。

最後に、PTA活動は、保護者だけの活動という印象をお持ちの方もいるかもしれませんが、教職員の皆さんもPTA活動の担い手であり、陰になり日向になり、子どもたちの笑顔のために「尽力」いただいております。私たち1人1人でできることは小さなことかもしれませんが、結果すれば大きな力となります。皆さんで力を合わせて、子どもたちにとってより良い未来のために頑張りましょう。

定期総会



5月18日(土)にアネーリ渋川において平成25年度定期総会を開催しました。当日は、阿久津市長、入内島市議会議長、小林教育長をはじめとする多数のご来賓のご臨席をいただきました。

議事では平成24年度の事業報告、収支決算報告及び監査報告がなされ、全会一致で承認されました。引き続き、平成25年度の役員(案)、事業計画(案)、予算(案)が審議され、全会一致で決議されました。

平成25年度

渋川市小中学校PTA大会

渋川市小中学校PTA大会を11月2日(土)にアネーリ渋川で開催しました。当日は、阿久津市長、入内島市議会議長、小林教育長をはじめ多数のご来賓のご臨席をいただきました。



小林教育長と松村会長から退任された前年度単P会長と女性代表に感謝状が、またPTA活動に功績のあった方々へ表彰状がそれぞれ贈呈されました。また毎年、今後のPTA活動への一層の充実を図ることを目的とした単位PTAの事例発表を行っておりますが、今年度は金島中学校PTA

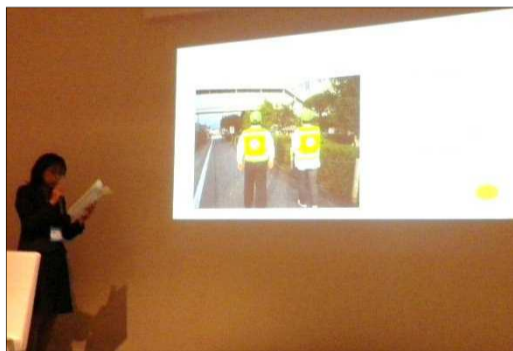
受賞者一覧

感謝状 50名(敬称略・順不同)

品田早人・西島薫(渋川南小)、設楽雅之・飯沼千夏(豊秋小)、矢代和幸・石田実花(渋川中)、松村浩・塩野谷利枝子(渋川北小)、福田光治・大竹真理子(渋川西小)、阿部まつえ(渋川北中)、星野礼子(金島小)、宮本廣樹・奈良場令子(金島中)、長谷川徹・千木良直美(古巻小)、高橋範行・金子奈津子(古巻中)、齋藤章吉・比嘉一枝(伊香保中)、野村聡・野村恵(小野上小)、齋藤誠・佐藤幸子(小野上中)、生方正彦・生方奈津美(上白井小)、八高和幸・千明未希(中郷小)、後藤竜一・渡邊君代(長尾小)、葛上文夫・埴田サザレ(子持中)、原高明・都橋陽子(三原田小)、須田克利・津久井則子(刀川小)、塚越正宏・町田理恵(赤城南中)、田村仁美・狩野紀子(津久田小)、石田正美・兵藤こずえ(南雲小)、石坂正明・堤恵三(赤城北中)、井野恒夫・田子美紀(橋小)、宇田川春樹・西田理枝(橋北小)、樋口三郎・狩野祐子(北橋中)

表彰状 7名(敬称略・順不同)

齋藤隆義(渋川中)、剣持しおり・高橋結実(豊秋小)、佐川富士枝・岸美和(金島中)、池田勝雄・星野裕士(中郷小)



眞下会長より「金島中学校PTA活動」について発表を行っていたことができました。今年度の受賞者の方々、次のおりです。受賞された皆さま、おめでとうございます。

「親の背中を見て子は育つ」

最近ではなかなか聞かなくなってきた言葉ではないでしょうか。情報を瞬時に世界中から得られる現代では、自分が欲しいものは大体そろえられます。しかし、生活するためには、世の中のルールに沿ったことができればなりません。それは、人との関わり方や人への思いや感謝といった、情報というものだけでは得られない、心や肌で感じるものです。それらを親が子どもの前で実践し、伝えることで子どもは成長し、常識を持っていくものだと思います。皆さんのお子様は、日々学校に楽しく希望を持って通っていますか？おそらく多くの方は「大丈夫」と答えるでしょう。それは子どもの事を第一に考え、健やかな成長を願って行動している親の背中を日々子どもに見せているからではないでしょうか。その前向きな姿は、子どもの心の成長にも大きく響き、夢や希望を考えることができる環境になっています。最近では、道徳心や常識がないという生徒が増えているとも聞きますが、まずは親が生活の中で少しずつ「背中で語る」ようになれば、変わってくるのでは、と強く感じます。子どもの成長は親・学校・地域からの影響によるもので、中でも親の存在は、とても大きなものです。PTA活動に参加する、私たち親の姿を子どもは必ず何かを感じながら見えています。少しずつでも何か気づき、考え、そして行動ができる子どもが増えていくことを願います。そのためには親も一緒に感じ、常識ある行動をすることが大切です。

子どもに恥じぬ様、胸を張って生活していきたいですね。



11月3日(日)しづかわ市民教育の日が開催され、式典に先立つミニパレードへは、25名が参加しました。会場では、青少年健全育成団体のパネル展示や啓発品配付、ロビーコンサートが行われ、にぎやかな雰囲気でした。式典は、ジュニアオーケストラによる演奏や少年の主張最優秀賞受賞者の発表が行われ、青少年の日頃の活躍が垣間見られました。その後、行われた講演会へはPTAからも多くの参加がありました。

アテネ五輪サッカー日本代表監督、解説者である山本昌邦氏をお迎えし「夢を持って生きていこう」一流選手に学ぶ目標達成へのプロセス」と題し講演をして頂きました。世界の舞台上で活躍している、長友選手や本田選手は、挫折を経験しながらも諦めずに努力し続け、今のポジションを確立したという話は、心に響くものがありました。一流の選手に育つには、どうするか。努力し続ける力。最後の最後まで諦めないこと。最初から優れた選手はいない、負けず嫌いで高い目標を持ち努力し続けることで、今があるのだというヒントや、努力し続けることの大切さが散りばめられた、力強く、素晴らしい講演でした。

教育懇談会



7月11日(木)に市役所第二庁舎において、市P連役員・各単P会長が小林巳喜夫教育長を囲み意見交換する場として教育懇談会を開催しました。懇談会の開会にあたり、小林教育長から「PTA会長の皆さまと一同にお会いして、お互いが日頃どんなことを考えているのか、意見を交わすことができる好機と捉えています。」との言葉をいただきました。今回のテーマは「スポーツ少年団・部活動と学校」「いじめ」「地区連携」の3点です。

部活動については、渋川市全体の生徒数が減少傾向にある中で、運動部しか選択肢がない学校での対応や、文化部における指導者の依頼などについての質疑がありました。これについて各校から、現状についての情報提供や同様の質問や意見が上がりました。教育長からは、スポーツ少年団と学校関係者との連携の必要性についてのお話や、児童生徒が休日に校外で頑張っていることを教師が把握することも学級経営では重要なことである、とお話をいただきました。少人数の学校では、複数の教科を掛け持ちするといった教員配置がされている場合もありますが、群馬県としても教員配置にかける予算を増やすよう措置を実施しているところと、意見のやり取りを通じて、各校に児童生徒数などさまざまな事情によって課題があることが改めて認識できたのではないかと思います。

次のテーマは、「いじめ予防、予防と対応について」家庭・学校・行政の視点からです。参加者から、不登校や登校しても保健室で過ごす児童生徒が多い現状や、いじめの対応として警察が介入するといった昨今の事例に対する心配の声が上がりました。また、学級崩壊を懸念する意見もありました。教育長からは、スクールカウンセラーの活用や通級指導教室の紹介、教員のいじめの対応能力を、研修を通じて高めていきたい、とお話をいただきました。また、学校現場への警察の介入については、不幸なことと捉え、地域との連携が必要であるとの考えを示していただきました。

次のテーマは「三者連携、家庭・学校・地域との連携の活性化」です。各学校で取り組んでいる事例の紹介や、運営上の課題などを話し合い、各学校が工夫を凝らして活動を行っていることを知ることができました。今回の懇談会も多くの意見や事例が紹介され、大変有意義なものであったと感じました。このような事業が今後も継続されることを期待するところです。

ソフトバレーボール大会



10月20日(日)に、秋の恒例行事のソフトバレーボール大会が秋雨の中行われました。今年度は、25チームが参加し、体育館で一生涯懸命にボールを追う姿や仲間を応援する姿が見られ、どのコートでも熱戦が繰り広げられました。惜しくも予選で敗退してしまったチームは、交流戦で親睦を深めることができました。決勝トーナメントへと進んだ単Pは、日頃の練習の成果を十分に発揮されたものと思われまます。

見事、優勝に輝いた渋川南小PTA、2年連続準優勝の渋川北中PTAの皆さん、おめでとうございます。各単Pとも大健闘でした。素晴らしいチーム力を発揮しPTAの皆さんの輪が広がりました。この大会にご協力いただいた皆さま、大変ありがとうございました。来年も多くの参加をお待ちしています。

ソフトバレーボール大会競技成績

優勝 渋川南小
準優勝 渋川北中
決勝トーナメント進出
渋川北小、中郷小、長尾小、古巻中
交流戦リーグ1位
渋川中、子持中、伊香保小、赤城北中



市長との対話集会

11月20日(水)、市役所において、市長、副市長、秘書広報課長を交えて、「市長との対話集会」が開催されました。今回は市内の中学校区からそれぞれの代表者、市P連会長、母親委員長ら合計13名が参加し、忌憚のない意見が出されました。

意見としては、学校運営に関することや、渋川の知名度アップに対する方法論といったことまで多岐にわたり、PTA活動の枠に留まらない様々なことが出されました。これらの意見や質問に対し、市長からは、現在の

行政が直面している問題点について説明していただき、改善の優先順位と地域間のバランスを考慮した対応を行うとの回答をいただきました。

今回、参加者の皆さんは、当初緊張気味の様子でしたが、徐々に白熱した意見交換となり、終わってみれば予定時間をオーバーしていました。これは、参加者の皆さんがそれぞれの立場で、子どもや地域のことを真剣に思っているということの現れであって、こうした思いが地域のより良い環境作りにつながることを願ってやみません。



PTA 2013 MIE
第61回日本PTA全国研究大会
三重大会 報告 8月23・24日
市P連会長 松村 浩 渋川中

初めて全国大会に参加しました。初日の鶴方で開かれた第9分科会「環境教育」に参加するため、鶴方駅よりシャトルバスを利用するつもりでしたが、スタッフの方より2キロ位と聞き、徒歩にて会場へ向かうことになりました。海辺の町でも小高い丘があり、登りきると、ここには海抜21メートルと書かれた標識があり、渋川に住む私達には意外な標識でした。「東北の震災時には、ここも津波に襲われてしまうね。」と話しながら会場へ行きました。会場では多くのスタッフの方が出迎えてくれました。基調講演では、「気象からみる地球環境」ということで気象予報士の多森成子さんから講演を聞き、また「森・海・人のつながり」ということで、鳥羽の漁師さんたちは、豊かな海の幸に恵まれて暮らしているのは、その海を育てるための海に流れ込む川の上流にある森が大切だということ、森林の手入れもしているそうです。子どもたちも、森の大切さを考え、森を守っていくこと、PTA活動で森の健康診断に取り組んでいるそうです。群馬県も森林の多い地域です。森が健康でいられるように努力していきたいと思いました。

全国大会では、ただただ人が多く、ビックリしました。挨拶もそれぞれの人が自分の思いを熱く語り、その分、式典の時間が伸び、ヴァイオリニストの川井郁子さんの演奏途中で帰らなくてはいけない人達が席を立ち始めてしまい、大規模の大会では式のスケジュール管理も大切な事だと感じました。

PTA KANAGAWA
第45回関東東京ブロック研究大会
神奈川大会 報告 10月26・27日
市P連副会長 中島 敏郎(伊香保中)

関東の各県から代表約二千名が集結した神奈川大会は、横須賀市を全体会場、6つの分科会はその周辺の各市からなる広域開催となりました。1日目は、逗子市で行われた第2分科会(テーマ:防災)を聴講しました。冒頭、記念講演として俳優の渡辺徹さんを迎え「夢の実現に向けて」との演題で経歴から俳優業での様々なエピソードや2児の父親としての子育ての体験談など、熱弁をふるい、話の内容にどんどん引き込まれ、あつと言った1時間でした。続いてPTA活動の事例発表が2件ありました。埼玉県幸手市のある小学校では、学校・家庭・地域が一体となり、毎年夏休みの期間に「防災サイバルキャンプ」を実施しているそうです。校舎で1泊2日の避難所生活の疑似体験をすることで、いざ災害時にとるべき行動と知識を楽しみながら身に付けているという内容でした。昨今の防災意識が高まる中で、全国レベルの模範的取り組みに深い感銘を受けました。

2日目は、横須賀市で全体会です。神奈川県知事を始めとする来賓祝辞、優良PTAの表彰と続き、第2部では記念講演として、社会風刺のコント集団「ザ・ニュースペーパー」が登場し、会場は大いに盛り上がりました。終盤では、PTA活動への参加の意義を「大人の背中」として見事に締めくくってくれました。

最後に、この2日間は、非常に実りある瞬間となり、参加して本当に良かったと思います。この先、本大会で得たものを少しでも活かせるようにPTAの一員として精一杯取り組んでいきたいと思ひます。

編集後記
市P連の広報誌も今号で、7回目の発行となりました。各単Pでも、広報誌を発行しているかと思いますが、その目的は何でしょうか。子どもたちの活躍を伝える場、イベントの周知、報告などなど、役割はありますが、私は「PTA会費の領収書」でもあると考えています。さて、広報委員会では、本紙の発行の他に、ホームページの運営をしています。「かけはし」同様にご愛顧をお願いします。

～ 広報委員 ～

須田 賢治 (赤城北中)	野村 秀樹 (小野上小)
佐藤 光芳 (渋川中)	新井 光久 (渋川北小)
渡邊 朋子 (金島小)	重野 能之 (中郷小)
齋藤 優矢 (子持中)	長岡 政明 (赤城南中)
穂苅 信行 (橘小)	